

# 指導と評価の年間計画（シラバス）

## 1 学年共通

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位
年次	1 年次	学科・コース	海洋科・情報通信科・食品工学科		
使用教科書		東京書籍「書道 I」			
副教材等					

### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・一人一人の個性を生かし、これを伸ばしていくことを学習の第一目標としています。練習する古典や題材とする語句など多くの場面で「自分で選ぶ」こととなります。自分を最高に生かせる選択をしていきましょう。
- ・「何が出来ているか」より「何が出来るようになったのか」を大切にしたいと思います。1時間の中での進歩、単元を通しての進歩、期を通しての進歩、そして、1年間の学習を通しての進歩が感じられるような学習への取り組みを期待します。
- ・書道 I の学習を通して、生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになることを希望します。

### 2 学習評価（評価規準と評価方法）

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質能力を育成する。		
観点	<b>知識・技術</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。</li> <li>・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況の観察</li> <li>・ノートやワークシートの記述</li> <li>・レポート、作品提出状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況の観察</li> <li>・ノートやワークシートの記述</li> <li>・レポート、作品提出状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況の観察</li> <li>・ノートやワークシートの記述</li> <li>・レポート、作品提出状況</li> <li>・自己評価</li> </ul>
<p>学習のまとめ（単元等）ごとに、上に示す観点に基づいて、評価規準を設定し、A（十分満足できる）、B（おおむね満足できる）、C（努力を有する）の3段階で評価します。また、それらの評価を基に学年末に5段階の評定にまとめます。そのために学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

### 3 年間の学習計画等

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	<p>「A表現」</p> <p>(1) 漢字仮名交じりの書</p> <p>「共通項目」(1)</p>	<p>〔共通事項〕</p> <p>ア 用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。</p> <p>イ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。</p> <p>・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。</p> <p>・名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>・目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。</p> <p>・漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。</li> <li>・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。</li> <li>・名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

2 学 期	「A表現」 (2)漢字の書 「共通項目」(1)	〔共通事項〕 ア 用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 イ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。  ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・古典の線質，字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。	・古典の書体や書風に即した用筆・運筆，字形，全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。	・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。
	「A表現」 (3)仮名の書 「共通項目」(1)	〔共通事項〕 ア 用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 イ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。  ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・連綿と単体，線質や字形を生かした表現をするための技能を身に付けている。	・古典の書風に即した用筆・運筆，字形，全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。	・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。
3 学 期	「B鑑賞」 (1)鑑賞 「共通項目」(1)	〔共通事項〕 ア 用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 イ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。  ・線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・漢字の書体の変遷，仮名の成立等について理解している。 ・書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。	・作品の価値とその根拠について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。	・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

※上記の内容は授業の進度によって変更される場合があります。